

13生地起第267号
平成25年6月26日

町会・自治会長 様

(公社) 日本水難救済会江戸川区委員長
多 田 正 見
(公 印 省 略)

平成25年度「青い羽根募金」運動への協力について (お願い)

「青い羽根募金」運動につきましては、毎年、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度も、海難事故等における人命救助活動のため、下記のとおり「青い羽根募金」運動を実施いたします。

つきましては、貴町会、自治会におかれましても、募金の趣旨をご理解のうえ、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 募金運動期間 平成25年7月1日(月)から8月31日(土)まで
- 2 募金事業内容 別紙趣旨書のとおり
- 3 募金額目安

500世帯未満	1,000円程度
500世帯 ～ 999世帯	1,500円程度
1,000世帯 ～ 1,499世帯	2,000円程度
1,500世帯以上	2,500円程度
- 4 受付場所 葛西事務所地域サービス係 (葛西事務所1階5番窓口)
- 5 受付時間 (平日) 8時30分から17時まで
受付時間内にお越しいただけない場合は、事前にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

江戸川区葛西事務所地域サービス係
〒134-0083 江戸川区中葛西3-10-1
電話 3688-0434 (直通)
担当 進藤、船津



青い羽根募金事業趣意書

海で遭難した人々の救助を行うボランティア活動を支援する団体、それが公益社団法人日本水難救済会（マリンレスキュージャパン）です。

明治22年設立以来123年の間に救助した人命は195,172人、救助した船舶は39,432隻を数えています。（平成24年末現在）。

現在、全国津々浦々に設置された合計1,298ヶ所の救難所・支所に所属しているボランティア救助員約5万4千人は、漁業や会社員などの職業を持った方々で、海難救助に向かう時は、身を危険にさらしながら人命救助を行っています。

公益社団法人日本水難救済会はこのようなボランティアを支援して、海の犠牲者ゼロを目指して活動をしている団体です。

海難救助は、厳しい条件の中で行われるため、安全かつ迅速な救助活動を行うことができるよう救助員は、常日頃から組織的な訓練を行うとともに、ライフジャケット、ロープ等の救助資機材の整備も必要です。さらに、救助船の燃料等も必要となります。

このため日本水難救済会は、その活動資金を確保するため毎年、青い羽根募金活動を行い、広く国民の皆様からのご寄付をお願いしております。

いただいた寄附金は部外の有識者にも参画いただいている運営協議会の審議を経て、計画的かつ有意義に活用されています。

青い羽根募金活動は周年行われていますが、本年も7月15日「海の日」を中心に7、8月を強調運動期間として全国的に募金活動を展開いたします。

海の犠牲者の皆無を目指して活動している公益社団法人日本水難救済会の事業に深いご理解とご支援をお願い致します。

なお、公益社団法人日本水難救済会は、所得税法及び法人税法に基づく「特定公益増進法人」であることから、青い羽根募金は、個人では所得控除又は寄附金特別控除（税額控除）が、また、法人では損金算入が認められます。



青い羽根 その一本が 救いの手

公益社団法人 日本水難救済会

会長 相 原



募 金 の 方 法

口座振込みによる募金

郵便局

口座番号 00120-4-8400
加入者名 公益社団法人 日本水難救済会

銀行

三井住友銀行 日本橋東支店
口座番号 (普) 7468319
加入者名 公益社団法人 日本水難救済会
青い羽根募金口

インターネット募金

青い羽根募金

検索

クレジットカード



- ・ホームページから以下の方法で募金ができます。
- ・クレジットカードはMasterCard、VISA、JCB、AMEXがご利用できます。
- ・NTTスマートトレードが提供するネット専用電子マネー「ちよコムeマネー」がご利用できます。



募金支援自動販売機の設置

日本水難救済会では青い羽根募金支援自動販売機の設置を全国展開しております。同販売機から飲み物をご購入頂きますと、売上金の一部が青い羽根募金として寄付されます。

寄付金に対する税制上の優遇措置

青い羽根募金は、海で遭難した人々の救助活動にあたる全国のボランティアの方々54,000人を支援するための募金です。

公益社団法人日本水難救済会は「特定公益増進法人」となっていることから、青い羽根募金等(賛助会員になられた方の賛助会費を含む。)による寄附金については、寄附金控除等の所得税・法人税の優遇措置の対象とされています。更に、平成25年2月21日から、個人の寄附については、「税額控除」または「所得控除」いずれかの方式を選択して、寄附金控除を受けられるようになりました。詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.mrj.or.jp>

●お問い合わせ先

0120-01-5587

募金フリーダイヤルでお申し出くだされば振込料無料の専用郵便振替用紙をお送りします。

- 後援：国土交通省、海上保安庁、消防庁、水産庁
- 協力：国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会、各地方小型船安全協会、日本マリーナ・ビーチ協会、日本セーリング連盟、全国漁業協同組合連合会、日本ライフセービング協会、日本海洋レジャー安全・振興協会、日本サーフィン連盟、全日本磯釣連盟、NPOグローバル・スポーツ・アライアンス ほか

「青い羽根募金」は、
海の救助ボランティアの
活動を支えています。
皆様の協力をお願いします。

MRJ
MARINE RESCUE JAPAN
●主催
公益社団法人 日本水難救済会
都道府県水難救済会



マスコットキャラクター
ぎゅうすけくん



青い羽根募金アドバイザー
城島 健司さん

全国54,000人の“海の救難ボランティア”の活動を支えます。

「青い羽根募金」にご協力を！

「青い羽根募金」のお願い

『青い羽根募金』とは

現在、全国1,298ヶ所の救難所・支所が救助拠点として整備され、約5万4千人のボランティアの方々が救助員として活動しています。海難救助は、厳しい条件の中で行われるため、効果的、かつ、安全な救助活動を行うことができるよう、救助員は常日頃から組織的な訓練を行うとともに、ライフジャケット、ロープ等の救助資機材、救助船の燃料等も必要になります。

これらに必要な資金を確保するため、公益社団法人日本水難救済会では、海上保安庁のご指導により昭和25年から「青い羽根募金」を開始し、周年で国民の皆様にご寄付をお願いしています。



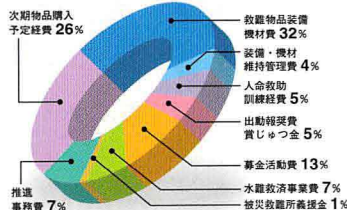
募金活動

このような活動をしています

沿岸海域において、漁船やプレジャーボート等の船舶海難、サーフィン・磯釣り・海水浴等での海浜事故が発生した場合に、全国各地の救難所員がボランティアで海難救助活動を行っています。

皆様から寄せられた青い羽根募金はこのように使わせていただきました

青い羽根募金の使用実績 (平成24年度)



118,152,794円

前期からの繰越額(物品購入予定経費28,649,825円)を含む

平成24年度は、皆さまのご支援により89,912,923円の募金をいただきました。



救助艇



ライフリング



救難機材



水上オートバイ



AED



携帯用発電機・投光器

栄誉ある表彰

名誉総裁表彰式典

本会の名誉総裁 高円宮憲仁親王妃久子殿下のご台臨を賜り、名誉総裁表彰式典を開催しております。



公益社団法人 日本水難救済会
名誉総裁 高円宮憲仁親王妃久子殿下



お言葉を述べられる名誉総裁 高円宮憲仁親王妃久子殿下



名誉総裁章を受ける、長崎県水難救済会橋湾東部救難所千々石支所の救難所員、吉岡靖彦氏と平野竜磨氏

平成24年度 名誉総裁表彰受賞者

海難救助や洋上救急に極めて抜群の功労のあった個人または団体には、表彰状または感謝状と名誉総裁章または同盾を贈呈いたします。

また、本会に多額の寄付をしていただいた方も表彰の対象となります。



和歌山県水難救済会紀南東部救難所申本支所

表彰受賞者	表彰理由
海難救助功労(団体の部) 和歌山県水難救済会 紀南東部救難所申本支所	平成23年2月22日、和歌山県申本町安智港海浜沖合で、潮渡船が高波により転覆大破し、乗組員2名及び乗客5名が海中に投げ出された。救助船5隻、救難所員13名を直ちに出勤。岩礁・暗礁に囲まれた危険な海域のうえ、強風高波で二次海難を起こす危険性がある中を、迅速な救助活動により漂流中の乗客3名を発見し、一致協力して無事救助した。
洋上救急功労(団体の部) (特)長崎県水難救済会 橋湾東部救難所千々石支所	平成22年7月28日、長崎県雲仙市千々石町の千々石海水浴場の波打ち原で遊んでいた高校生5人のうち1人が高波にさらわれた。荒波に揉まれながら救助を求めているのを、救難所員が発見した。海潮流が複雑な海域で、救難所員1名が救命胴衣を着用し、救助に向かった。救難所員2名が被救助者の位置や潮流の状況等を確認指示する等、迅速な救助活動を実施して行い、大量に海水を飲み込み興奮状態になっていた高校生を無事救助した。
事業功労[金品寄贈](団体の部) 沖縄県立八重山病院	洋上救急事業の協力医療機関として、これまで36件の洋上救急事案に対して39名の医師・看護師を派遣、巡視船や航空機等に同乗して出動し、緊急に医師の加療を要する傷病者38人に対して医療処置を行った。
事業功労[金品寄贈](団体の部) 若築建設株式会社	日頃から水難救済事業の重要性を深く認識され、青い羽根募金強調期間中、青い羽根募金活動に全社を挙げて取り組み、多年にわたり多額の寄附をした。

※本会への寄付をされた方、海難救助に貢献のあった救難所員等に対して、表彰審査委員会の審査を経たうえで表彰を行っています。

青い羽根募金の使途は部外の有識者で構成する青い羽根募金運営協議会委員の審議承認を得て決定されます。